

京都府 議会だより

発行／京都府議会
編集／京都府議会広報広聴会議
題字／京都府立宮津天橋高等学校
宮津学舎2年生
安達 和香さん

WebやSNSで
最新情報を
チェック！

No. 68

京都府
議会
Web



令和
8

6月定例会まとめ

2026年
9月1日
発行



詳細はこちら ▶



予算特別委員会を 開催しました

京都府子育て環境日本一推進戦略のための経費や中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰などへの対応経費など、約322億円の補正予算案を予算特別委員会で審議し、本会議で可決しました。

本会議では、議案18件について可決・同意したほか、意見書4件について可決しました。

可決された意見書

- ① ドナーミルク[※]の利用拡大を求める意見書
- ② すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
- ③ 地域住民と観光振興が両立する持続可能な民泊制度の実現を求める意見書
- ④ 住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書

意見書とは

府民の利益になるような事柄について、議会の意思をまとめた文書のことです。国をはじめとする関係行政機関に提出されます。

※ドナーミルク：産婦の健康状態等により十分な母乳が得られない場合に、ほかの母親から提供された母乳を殺菌処理したもの。

予算特別委員会の詳細は中面へ ▶

予算特別委員会

を開催しました

1 予算案提出

知事から本会議に予算案が提出されました。提出された予算案は予算特別委員会に付託され、予算特別委員会補正予算審査小委員会で審査が行われました。

令和8年2月定例会において、令和8年度当初予算案（骨格予算）が可決されました。そして、6月定例会において、知事選後に組まれた補正予算案（肉付け予算）をチェックしました。

「肉付け予算」の仕組み解説

骨格予算

人件費や継続事業費など、必要最低限の予算

肉付け予算

知事選後に、新しい事業など政策的な経費を盛り込んだ予算



2 小委員会での審査(書面審査)

提出された予算案について、資料を確認し、関係者に対して質疑を行いました。

ワンポイント
予算特別委員会は全議員で構成される一方、小委員会は全議員の中から選出された約半数の議員で構成されています。

3 小委員会での審査(総括質疑)

書面審査での議論を踏まえ、その議論をより深めるために、知事などに対して、さらに質疑を行いました。

総括質疑 質疑者

池田 正義(自民) 筆保 祥一(維国)
能勢 昌博(自民) 島田 敬子(共産)
藤山 裕紀子(自民) 田中 健志(府民)
上倉 淑敬(維国) 山口 勝(公明)

質疑項目についてはこちら



4 委員長報告・採決

委員会で審査された結果を予算特別委員長が本会議で報告し、それらをもとに議案に対しての採決を行いました。

5 意見・提言

予算特別委員会補正予算審査小委員会では出された指摘や要望を「意見・提言」として、議長から知事に提出しました。

提出された「意見・提言」についてはこちら



詳細はこちら



高校生に、府議会や議員との直接の関わり合いを通じて府議会への関心を高めていただき、議会を身近なものとするため、「出前高校生議会」を実施しました。

令和8年 7/16(木)
府立向陽高等学校

今回は議会棟で開催しました



主なテーマ

- 京都市とそれ以外の地域の格差について
- オーバーツーリズムについて
- 空き家問題について
- 過疎化について

生徒の主な感想

- 選挙権が引き下げられた理由を聞いて、若い年代の声も必要と分かったので、これから積極的に参加したい。
- 議員さんと、もっといろんな議題について深い話をしたいと思った。
- 身近な問題を解決するのに、こんなにも意見交流をして大変だと実感した。

代表質問

令和8年6月23日、24日に
行われた代表質問の主な内容は
次の通りです(質問順)



看護師等の
人材確保について



質問

府北部などの人材確保が厳しい地域において、医療機関や市町村、民間教育機関等とも協働し、看護職を目指す人材の発掘から就職・定着までを切れ目なく支える仕組みづくりを今後どのように進めていくのか。

回答

ナースセンターと連携するハローワークを府全域に拡大するとともに、専門学校や大学などへの入学を目指してもらうための、府北部の高校と連携した修学資金制度の積極的な周知に取り組みなど、関係機関との連携を強化していく。



自転車に対する
道路交通法について



質問

自転車通行レーンに大型車が長時間にわたり違法に駐車し、自転車の走行に危険が及んでいる。車両後方に誘導員を配置するなど、自転車走行に係る本府独自のルールづくりが必要と考えるがどうか。

回答

特定の場所や時間における状況も踏まえた上で、京都市などと連携した広報啓発や重点的な交通取り締まりを実施するなど、交通安全を阻害する違法駐車対策をさらに推進する。



地域経済の発展を
見据えた観光施策の
今後の展開について



質問

外国人観光客の急増に伴う大型手荷物による通行等への影響がある中、京都市に集中する外国人観光客を府域に分散させるためにも、「手ぶら観光」を推進すべきと考えるがどうか。

回答

「手ぶら観光」の推進は、観光の快適性や利便性の向上、公共交通機関の混雑緩和など、効果的な取り組みであると認識している。「手ぶら観光」を取り入れた「まるっと京都」のモデルコースを発信し、普及を図っていく。



府北部地域の
振興について



質問

丹後天橋立ミュージアムについて、天橋立を訪れた観光客を府北部全域へとつなげる周遊促進拠点、いわゆる「ハブミュージアム」として、どのような機能と役割を果たしているのかと考えているのか。

回答

丹後の風景美を発信する展覧会などを開催し、魅力を発信するとともに、周辺観光施設と連携した共通周遊券の発行などの取り組みを通じ、ハブミュージアムとしての機能と役割を果たしていく。



地域コミュニティの
活性化と伝統行事の
継承について



質問

地域コミュニティは、防災、福祉、子育て、文化継承など様々な行政施策の基盤となるものであり、人口減少や担い手不足が進む中、その維持・活性化について、どのような課題があるか認識しているのか。

回答

地域コミュニティが果たす役割を、持続可能な形で維持・発展させていくことが課題であり、それらを担う人材の育成や地域課題の解決に向けた取り組みが重要であるため、交付金などにより支援を行っていく。

光永 敦彦 共産 左京区

医療制度の今後について

府立植物園の今後の在り方について

畑本 久仁枝 維国 西京区

外郭団体（府の出資法人）の在り方と組織改革について

中小企業の事業継続支援について

奥村 文浩 自民 城陽市

AIによるジョブチェンジに備えたリスキリング支援について

高校無償化時代における公立高校の魅力づくりとICTを活用した個別最適な学びについて

渡辺 邦子 自民 伏見区

公共インフラに求められる役割について

次代を担う若者の環境教育について

西山 龍夫 維国 八幡市

持続可能な民生児童委員制度の推進について

大規模林野火災等に備えた危機管理体制について

大河内 章 公明 右京区

障がいのある方が地域で安心して働き、暮らし続けられる社会づくりについて

嵐山における松枯れ被害について

片山 誠治 自民 南丹市及び船井郡

公共事業の着実な推進について

クマ被害対策について

田中 美貴子 府民 宇治市及び久世郡

子どもの心の診療ネットワーク事業と市町村が実施する発達支援関連事業との連携について

府南部の児童相談所の在り方について

津田 裕也 自民 北区

収入確保策について

京都府立高校における金融リテラシー教育について

6月29日(月)

成宮 真理子 共産 西京区

京都アリーナ（仮称）について

加齢性難聴者の補聴器購入への補助制度について

青木 義昭 自民 中京区

府市協調による先斗町公園整備と鴨川周辺のまちづくりについて

警察官の採用とAIの活用について

武田 光樹 自民 福知山市

子育て世帯が安心して外出できる環境整備について

気候変動による猛暑や渇水が農業に与える影響とその対策について

筆保 祥一 維国 木津川市及び相楽郡

地域共生社会の実現について

その他の一般質問項目については府議会Webをご覧ください



9月定例会の日程（予定）

会期 9月16日(水)～11月9日(月)

代表質問

9月24日(木)、25日(金)

KBS京都で生中継 各日午後1時から

一般質問

9月28日(月)、29日(火)、30日(水)

総合計画に関する特別委員会

10月1日(木)、2日(金)

常任委員会

10月5日(月)、8日(木)

特別委員会

10月9日(金)

決算特別委員会

10月15日(木)～11月6日(金)

傍聴の案内はこちらをご覧ください



議会の様子は、インターネット中継でご覧いただけます



最新の日程については府議会Webをご覧ください



代表質問



病児保育のICT化と広域化について

竹内 紗耶 維国 右京区



質問

国が病児保育のICT化・広域化を推進する中、保護者負担の軽減につながるICT基盤整備や、「市町村単位のサービス」ではなく、「府域全体で支える子育てインフラ」としての広域連携をどのように進めていくのか。

答弁

先進的な取り組みなどを市町村に共有するとともに、懸念点や地域ニーズなどを丁寧把握しながら、地域の実情に応じた検討が進むよう取り組んでいく。



中東情勢による地域経済への影響の対策と賃上げ支援について

馬場 紘平 共産 伏見区



質問

府内の実態に対して、補正予算は規模も中身も不十分である。独自の支援策に取り組んでいる自治体がある中、資金繰りを支援する制度の創設など、本格的な対策を早急に実施する必要があると考えるがどうか。

答弁

資金繰り支援と経営改善が一体となった伴走支援や生産性向上の支援をいち早く届けるとともに、経営状況の把握に努め、資金繰り支援の拡充など、時機を逸することなく対応していく。